



新国立劇場 2025/2026 シーズンオペラ

ドニゼッティ
愛の妙薬

L'elisir d'amore / Gaetano Donizetti

2026年5月16日(土)～ 5月27日(水)

会場:新国立劇場オペラパレス 2026年3月14日(土) 10:00～前売開始



『愛の妙薬』 2013年公演より

嘘の薬と本当の恋。誰もが幸せな気持ちになれるロマンティック・コメディ『愛の妙薬』

ベルカント・オペラを代表する作曲家ドニゼッティの人気オペラ・ブッフア(喜劇)。偽の惚れ薬“愛の妙薬”をめぐる、コミカルでちょっぴりホロリとする恋の物語で、世界中で愛される人気作。テノール屈指の名アリア「人知れぬ涙」をはじめとした色とりどりの美しいナンバーが盛り込まれています。新国立劇場のリエヴィ演出は遊び心がいっぱい。9メートルもある本や文字、実物大の小型飛行機などがカラフルでポップな舞台上に次々登場し、丁寧な心理描写で恋物語を運びます。目にも耳にも楽しい『愛の妙薬』は、初めてのオペラにもお薦めの作品です。

ピア・ヴィターレ、デソーレ、フィリッポ・ロマーノ、アルベルギーニと旬の歌手が揃い踏み！

アディーナ役は新星ソプラノとして大注目のフランチェスカ・ピア・ヴィターレが新国立劇場初登場、ネモリーノには22年の『椿姫』で伸びやかな声が好評を博したマッテオ・デソーレが登場。薬売りドゥルカマラーには同役やモーツァルトで大活躍中のマルコ・フィリッポ・ロマーノ、恋敵となる軍曹ベルコーレには大人気バリトンのシモーネ・アルベルギーニが出演する贅沢さ。指揮はイタリアの重鎮マルコ・ギダリーニです。

＜資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ＞

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel: 03-5352-5733 / Fax: 03-5352-5709 / E-Mail: E-Mail: takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

不器用な奮闘にホロリとさせられる、ドニゼッティのとびきりキュートな恋物語



『愛の妙薬』は、ベルカント・オペラを代表する作曲家ドニゼッティの人気オペラ・ブッファ(喜劇)。偽の惚れ薬“愛の妙薬”をめぐる、コミカルでちょっぴりホロリとする恋の物語で、世界中で愛される人気作です。テノール屈指の名アリア「人知れぬ涙」をはじめ、ネモリーノのカヴァティーナ「なんて美しい!」、アディーナの告白のアリア「受け取って、私のおかげであなたは自由」、そしてフィナーレのドゥルカマーラの超絶技巧の口上「この薬はなんでも治します」と、色とりどりの美しいナンバーが盛り込まれています。

新国立劇場のリエヴィ演出は遊び心が

いっぱい。9メートルもある本や文字、実物大の小型飛行機などがカラフルでポップな舞台上に次々登場し、丁寧な心理描写で恋物語を運びます。目にも耳にも楽しい『愛の妙薬』は、初めてのオペラにもお薦めです。



旬の歌手たちが揃い踏み！絶品の顔合わせによる『愛の妙薬』



F.P.ヴィターレ



M.デソーレ

アディーナ役は新星ソプラノ、フランチェスカ・ピア・ヴィターレが新国立劇場初登場。「OPERA WIRE」誌 2022 年オペラ界の新星トップ 10 にも選出された、飛ぶ鳥を落とす勢いで躍進中のソプラノ。最近ではミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、モンテカルロ歌劇場、ローマ歌劇場、トリノ王立歌劇場などヨーロッパ主要歌劇場の主演が続く、オペラ界大注目のソプラノです。

ネモリーノには 22 年の『椿姫』で伸びやかな声が好評を博したマッテオ・デソーレ。

今やヨーロッパで引っ張りだこの

活躍をしているテノールが、嬉しい再登場です。薬売りドゥルカマーラにはベルカント・オペラのブッフォ役やモーツァルトを持ち役に世界の著名劇場で大活躍中の名人マルコ・フィリッポ・ロマーノ、恋敵となる軍曹ベルコーレには、新国立劇場で『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールや『シモン・ボッカネグラ』でシモンを裏切るパオロを歌い、しなやかな表現が日本でも大人気のバリトン、シモーネ・アルベルギーニが出演します。

指揮はイタリアの重鎮マルコ・ギダリーニ。絶品の顔合わせがオペラパレスに揃います。最高に贅沢な『愛の妙薬』にご期待ください。



左上より M.ギダリーニ、C.リエヴィ、F.P.ヴィターレ、M.デソーレ、S.アルベルギーニ、M.F.ロマーノ

<「愛の妙薬」あらすじ>

純朴な農夫ネモリーノは農場主の娘アディーナに夢中。軍曹のベルコーレが彼女を口説くので、ネモリーノも勇気をふるって告白するが相手にされない。そこへインチキ薬売りドゥルカマーラが登場、愛の妙薬と称し安物のワインを彼に売りつける。酔っ払ったネモリーノは急に強気になるが、怒ったアディーナはベルコーレと結婚することに。ネモリーノはさらに妙薬を買うお金を得るために軍隊に入隊する。心打たれたアディーナはネモリーノに愛を告白、二人は結ばれる。

新国立劇場オペラ「愛の妙薬」ダイジェスト映像

https://www.youtube.com/watch?v=mMFi_ZXHRXY



＜主要キャスト・スタッフプロフィール＞

【指揮】マルコ・ギダリーニ

Marco GUIDARINI

ポーランド・ポズナン歌劇場首席指揮者。高度な音楽の知識に人文的探究を融合し、モーツァルトやベルカント、ヴェルディやプッチーニの主要作、『ヴォツェック』まで、200以上の交響曲、70以上のオペラを指揮。メトロポリタン歌劇場（『リゴレット』）からミラノ・スカラ座（『劇場の都合、不都合』）、シドニー・オペラ（『トスカ』『魔笛』『コジ・ファン・トゥッテ』）、ポリショイ劇場（『トゥーランドット』）、コロソ劇場（『ファルスタッフ』）など、世界の主要歌劇場で指揮。2001年から09年までニース・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督を務める。パリのベッリーニ・ベルカント国際コンクールの芸術監督を10年間務める。フランス放送フィルと『妖精ヴィトリ』を録音し、シャルル・クロックス賞「オルフェ・ドール」を受賞。フランス文化省よりシュヴァリエ・デ・アート・エ・デ・レトルを、イタリア政府より星の騎士章を、18年には、音楽を通じた芸術と人道主義の国際大使として、ポール・ハリス・フェローの称号も授与されている。新国立劇場初登場。



【演出】チェーザレ・リエヴィ

Cesare LIEVI

イタリアのブレシア・ガルニャーノ生まれ。イタリア、ドイツ、オーストリアで1980年代に舞台演出家として成功を収める。オペラの分野では90年代よりミラノ・スカラ座でシーズン・オープニングの『パルジファル』、ウィーン国立歌劇場『ジェズアルド』、メトロポリタン歌劇場『チェネントラ』、ベルリン州立歌劇場『マノン』、モデナ市立劇場『ピーター・グライムズ』、カタリニャ・ベッリーニ劇場『ラインの黄金』『ワルキューレ』などを手がけている。チューリヒ歌劇場には継続的に招かれ、『妖精ヴィトリ』『道化師』『シチリアの晩鐘』『ジュリオ・チェーザレ』『アルジェのイタリア女』など数多くの作品を発表している。最近ではサンパウロ歌劇場『マノン・レスコー』、クラーゲンフルト歌劇場『カルメン』、モンテカルロ歌劇場『ワリー』、パルマ・ヴェルディ音楽祭『ドン・カルロ』などの新演出を手がけている。



【アディーナ】フランチェスカ・ピア・ヴィターレ(ソプラノ)

Francesca Pia VITALE

数々の国際コンクールに入賞し、「OPERA WIRE」2022年オペラ界の新星トップ10にも選出された、イタリアの新星ソプラノ。2020年ミラノ・スカラ座アカデミー修了。スカラ座へ『愛の妙薬』ジャンネッタでデビューし、『はじめに音楽、次に言葉』『ジャンニ・スキッキ』、『リゴレット』小姓、『子どものためのチェネントラ』クロリダに出演。スカラ座の20年秋シーズンには『椿姫』アンニーナに出演。22年には『夢遊病の女』リーザでヴィシー、アヴィニヨン、メス、ランスなどフランス各地に登場。スカラ座『秘密の結婚』エリゼッタ、パドヴァでは『カプレーティ家とモンテッキ家』ジュリエッタ、マスカット・ロイヤル・オペラ『フィガロの結婚』スザンナ、スカラ座『小舟に乗った恋人たち』チオマ、『ウェルテル』ソフィーに出演。最近では、パリー・ペトルツェツェリ劇場とボルドー歌劇場で『ラ・ボエーム』ムゼッタ、パレルモ・マッシモ劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』、トリノ国立歌劇場『ドン・バスクワレ』ノリーナ、モンテカルロ歌劇場『愛の妙薬』アディーナ、ハノーファー歌劇場、パリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座『リゴレット』ジルダ、ローマ歌劇場『羊飼いの王様』エリーザなどに出演している。新国立劇場初登場。



【ネモリーノ】マッテオ・デソーレ(テノール)

Matteo DESOLE

サッサリ出身。モデナで学び、2015年にポローニャ歌劇場に『マクベス』マルコムでデビュー後、ヨーロッパ各地の劇場に次々にデビューし、サヴォーナ歌劇場『ルチア』エドガルド、AsLiCo 連盟『リゴレット』マントヴァ公爵、ローマ歌劇場及びチロル音楽祭『椿姫』アルフレード、マルケ州劇場連盟『魔笛』タミーノなどでテノールの主要役のロールデビューを飾る。最近では、ブラハ歌劇場『愛の妙薬』ネモリーノ、カリアリ歌劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『ラ・ファヴォリータ』ファルナンド、『ルクレティア・ボルジア』ゲンナーロ、ルッカ歌劇場、フィレンツェ歌劇場『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ、モデナ、レツジョ・エミーリアで『ナブッコ』イズマエーレ、ポローニャ歌劇場『ルチア』エドガルド、ホランドパーク・オペラ、ノルウェー国立オペラ、グラインドボーン音楽祭『椿姫』アルフレードなどがある。新国立劇場へは22年『椿姫』アルフレードでデビューした。



【ベルコーレ】シモーネ・アルベルギーニ(バス・バリトン)

Simone ALBERGHINI

ポローニャ生まれ。1994年オペラリア・コンクール優勝。ミラノ・スカラ座、グラインドボーン音楽祭、フィレンツェ歌劇場、ワシントン・オペラ、メトロポリタン歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ナポリ・サン・カルロ歌劇場、ポローニャ歌劇場、バイエルン州立歌劇場などの主要劇場へ出演を重ねる。ロッシーニ・オペラ・フェスティバルに『オテロ』『タンクレディ』『泥棒かささぎ』『ウィリアム・テル』など数多く出演。『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵/フィガロ、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールのほか、『チェネントラ』ダンディーニ、『ホフマン物語』悪役、『カルメン』エスカミーリョなど、モーツァルト、ロッシーニをはじめイタリア及びフランスオペラをレパートリーとする。最近では、トリエステ・ヴェルディ歌劇場『フィガロの結婚』フィガロ、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、トリノ国立歌劇場『愛の妙薬』ドゥルカマラーなどに出演。新国立劇場では22年『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、23年『シモン・ボッカネグラ』パオロに出演した。



【ドゥルカマーラ】マルコ・フィリッポ・ロマーノ(バリトン)**Marco Filippo ROMANO**

カルタニッセッタ(シチリア)生まれ。パレルモのベッリーニ音楽院ホルン科卒業後、歌手として研鑽を積む。ミラノ・スカラ座、フィレンツェ歌劇場、テアトロ・レアル、バイエルン州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ノルウェー国立オペラなどに登場。ペーザロ・ロッシーニ・フェスティバル『ランスへの旅』『マティルデ・ディ・シャブラン』、ヴィルトバード・ロッシーニ音楽祭『ウィリアム・テル』『コリントの包囲』も絶賛される。ロッシーニやモーツァルト、『ドン・パスクワレ』タイトルロール、『愛の妙薬』ドゥルカマーラ／ベルコーレなどのほか、18世紀や20世紀のオペラもレパートリーとする。最近の主な出演に、ワロン歌劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソ、フィレンツェ歌劇場『ドン・パスクワレ』タイトルロール、ミラノ・スカラ座『チェネレントラ』ドン・マニフィコ、ウィーン国立歌劇場、フェニーチェ歌劇場、トリエステ・ヴェルディ劇場『セビリアの理髪師』ドン・バルトロ、レッジョ・エミリア、ピアチェンツァ、モデナの『アルジェのイタリア女』タッデオなどがある。新国立劇場初登場。



新国立劇場 2025/2026 シーズンオペラ

G.ドニゼッティ

愛の妙薬

Gaetano Donizetti / L'elisir d'amore

全2幕〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】 2026年5月16日(土)14:00／20日(水)19:00／23日(土)14:00／27日(水)14:00

【会場】新国立劇場オペラパレス

【チケット料金】 S:26,400円・A:22,000円・B:15,400円・C:9,900円・D:6,600円・Z:1,650円

【前売開始】 2026年3月14日(土)

※予定上演時間 約2時間30分(休憩含む)

指揮	マルコ・ギダリーニ	アディーナ	フランチェスカ・ピア・ヴィターレ
Conductor	Marco GUIDARINI	Adina	Francesca Pia VITALE
演出	チェーザレ・リエヴィ	ネモリーノ	マッテオ・デソーレ
Production	Cesare LIEVI	Nemorino	Matteo DESOLE
美術	ルイジ・ペーレゴ	ベルコーレ	シモーネ・アルベルギーニ
Set Design	Luigi PEREGO	Belcore	Simone ALBERGHINI
衣裳	マリーナ・ルクサルド	ドゥルカマラー	マルコ・フィリッポ・ロマーノ
Costume Design	Marina LUXARDO	Dulcamara	Marco Filippo ROMANO
照明	立田雄士	ジャンネッタ	今野沙知恵
Lighting Design	TATSUTA Yuji	Giannetta	KONNO Sachie
再演演出	上原真希		
Revival Director	UEBARU Maki		

合唱指揮	富平恭平
Chorus Master	TOMIHIRA Kyohei
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/lelisdamore/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

- * Z席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。
- * 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。
- * 未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】



【12】

新国立劇場『愛の妙薬』2013年公演より 撮影:三枝近志